

# 啓伸塾便り

5月(皐月)  
May

ひとりひとりを大切に  
啓伸塾  
ただ今、五月入塾生受付中

## 「あいさつ」と「時間を守る」とは学力向上に直結!

先月に引き続き、「へんけん伸びる子は何が違うのか?」の学習以前の、学力向上に必要なたとえをお伝えします。

学力が伸びない子に共通の、マイナスの心に支配されてしまった子をプラスに変え、学力を伸ばすためにはどうすればいいのかわかるか、それについてこれからお話しします。

マイナスの心に支配されてしまった子の心をプラスに変え、学力を伸ばすための法則を、「学びの法則」と言います。

この法則は、三つの柱で成り立っています。

### ① 「身」を正す ⇓ 三大生活習慣を正す

「二つ目は、あいさつ」です。なぜ重要なことかご存知でしょうか。「礼儀として重宝」「コミュニケーションの手段として大切」などいろいろありますね。

実は、あいさつは学力向上とリンクしていることはなかなか知られていません。あいさつは、主体性の表れなのです。

自分から積極的に声を発するという行為は、主体性に他なりません。主体性があると、情報を積極的に取りに行ったり、また入ってきたりします。さらに活動の原動力にもなり、エンジンの役割も持っています。

「元気に、明るく、前向きなあいさつをしましょう!」単なる美しい標語以上の効果を実は出しているのです。また、このような子どもは、周囲の大人からも信頼され、期待されます。

それが子どもの自己肯定感を高め、また、子どもはさまざまな活動のチャンスを与えられたりします。

### 中学1年生のみなさんへ

中学へ入学し一か月が経とうとしています。少しずつ学校にも慣れてきたことと思います。中学は、小学校と違い、先生が、教科ごとに替わり、先生も子供たちの一面しか見ていないので、評価が点数、提出物、授業態度など、わかりやすいもののでの評価になってしまいます。くれぐれも提出物には敏感になってほしいと思います。定期テストでよい点数を取っても、提出物を出していないだけで、驚くほど厳しい評価になったりします。提出物は、そんなに頻繁にありませんが、宿題が「ない」のではなく「聞いていない」にならないようにしていただきたいです。

### 小学5,6年生のみなさんへ

5,6年で習うことは、国語・算数・理科・社会とも、少し深くなって中学で登場します。特に、5,6年生の算数で習う「割合、百分率、速さ」の問題は、絶対理解して中学に入学してほしいと思います。これらの単元は、中学では高校入試に必ず出題される方程式、関数で使う大切な単元です。塾の授業の復習テストで繰り返し問題演習をしています。この小学校高学年で習う算数は、中学数学につながる大切な学習になります。

よく、中学でそんなに勉強していないのによい点数を取ってくる子がいますが、そんな子はきまって小学校5,6年でしっかりと勉強してきた子です。こんな子は、自分で勉強する習慣が付いているので、親がうるさく言わなくても自分で勉強します。しかし、勉強の習慣が付くまで(小学校5,6年が大切)は、親がそのしつけをしなければなりません。

### 小学2年生、3年生のみなさんへ

3年生、4年生で分数、小数のしくみを学習します。整数は、目で見て理解することであり、普段の生活でも使うので理解しやすいですが、小数、分数はそうはいきません。これらのことをしっかりと理解することが大切です。

1年生から3年生までで、たし算、ひき算、かけ算、わりざんを習います。これらの意味を理解することが大切です。算数の学習の中だけでなく、普段の生活の中で保護者の方と一緒にどんどん使って、その真の意味を子供たちに教えてください。また、この時期に、学習習慣をつけることが重要です。宿題は毎日決まった時間に時間を十分取ってやらせて下さい。時間を決めないでやらせると早くやりたいがために雑になってしまいます。漢字は、トメ・ハネに注意して書かせるようにしましょう。

また、数字が雑だと計算ミスの大きな原因になります。2ケタ、3ケタの加減乗除の筆算が確実に出来るように繰り返し練習しましょう。これは、5年生で習う小数の計算へと続きます。小学校低学年で計算の基礎力をつけたいものです。算数の学力には、確固とした計算力が不可欠です。丁寧に正確に出来るようになったら、今度はスピードです。計算は速く正確に出来ることが重要です。小学生も中学生も塾で毎回行っている百ます計算は、集中力と計算力を鍛えます

### 5月の予定

**ゴールデンウィーク中のお休みは、別紙にてお伝えしてあります。**

**中学定期テスト対策** 5月下旬から6月上旬の土・日で中学校別に定期テスト対策を行います。詳しくは、後日別紙にてご連絡いたします。

**漢字検定の日程** 本年度の漢字検定は、7月に行います。

**各学校の行事予定を塾へお持ちください。よろしくお願ひします。**

※5月の連休明けに中学では、**実力テスト(中3)・課題テスト(中1・2)**があります。中3の実力テストは、学校の進路指導の資料になる重要なテストです。例年難しいテストです。過去問題を渡します。これに取り組んで問題形式に慣れて、とまどわずにテストに取り組めるようになってほしいと思います。

例えば、学力が同じふたりの子がいたとして、片方は、明るく元気なあいさつをする子であり、もう片方はそうでない子であったとき、どちらにチャンスを与えらるでしょうか、とどちらに与えらるでしょうか。

先生も人間です。ある程度の感性で判断しますね。もちろんこのような利得を自当てにするものではありませんが、単純な、あいさつという行為は、礼儀以上の効用があるのです。

ですから、あいさつの大切さを子どもに話をしたうえで、あいさつをしっかりとできる人になってもらいましょう。

「二つ目は「時間を守る」です。本当は、「約束を守る」という言葉で表現したいところですが、「時間を守る」のほうの方が分かりやすいため、この言葉を使っています。

特に、日常生活において時間を守れない子が、テスト前だけメリハリをつけて勉強することなどできるはずもなく、一事が万事なのです。

先ほどお書きしましたが、数分の遅刻は、致命的です。癖になってしまつと抜けることが難しくなります。

数分の遅刻は、心の怠惰を表しています。ですから、登校時間、友達との約束時間、ご飯の時間や勉強の時間など、しっかりと守るという癖をつけておかないと、重大なときにもその影響が出てしまいます。

子どもどころから「時間、時間でキチキチするのは大変!」「ストレスがたまりそう」という人もいますが、子どもどころから習慣にしてしまえば、それが当たり前になるので、ストレスになりません。

むしろ、時間を守ること自体、それが普通となっていますから、時間を守れる子は、メリハリの癖がついていますので、日々の学習やテスト前の勉強にも当然、威力を発揮します。

これも日常の些細なこと積み重ねが、学力へ影響を与える典型例です。